

令和5年大磯町議会

3月定例会総括質疑（2月20日）

質問議員	質問事項
<p>1 2番 吉川 重雄議員 (40分) 9:05～9:45</p>	<p>町長がこれから進めていく町政運営について伺う。</p> <p>「昨年町長選挙で、町民の皆様を示した6つの項目でまとめた政策集『大磯をもっと前へ。』の取組みを進めていき、人口減少に歯止めをかけることに重きを置いていきたいと考えている。」と 言われた。</p> <p>「役場という字は、人の役に立つ場と書く」と言われ、「町民の皆様にとって満足していただける役場となるよう職員一丸となつて取り組んでいきます。」とも言われた。おおいに期待している。</p> <p>令和5年度の重点的取組みの中で、前の町長運営の問題点の一つである「令和3年からこれまでの2年にわたり運営上の問題を多く指摘してきた大磯町社会福祉協議会の運営立て直し」がどうなるのか。私には一番気がかりの重要な問題と捉えている。町長は「社会福祉協議会と協議を行うことにより、役員体制づくりへの支援や町職員の派遣などによる人的支援を検討していくなど、業務運営体制の強化につなげるための運営支援に取り組んでいく」と述べられたが、令和5年度中に、従来どおり問題のない大磯町社会福祉協議会の運営ができる体制づくりが実現するのか、町長の見解を問う。</p>
<p>2 7番 奥津 勝子議員 (40分) 9:45～10:25</p>	<p>令和5年度への施策方針に「人口減少対策元年」と位置づけ6つの重点的取組みを述べられた。次の点について問う。</p> <p>1. 1項目目の「子育ての教育環境の向上について」</p> <p>(1) 学校施設の整備方針などを定める「学校教育施設整備構想」とあるが、その内容は。</p> <p>(2) 「大磯式の持続可能な部活動の実施に向け準備を進めていく」とのことだが「大磯式」とは、また予算付けはあるか。</p> <p>(3) 「異次元の子育て支援策」とは、どのような支援策で、これへの予算化は。</p> <p>(4) 副町長を本部長とする「子育て支援対策本部」の内容は。</p> <p>2. 5項目目の防災について</p> <p>『防災ラジオ』などの新たな情報発信方法の導入」とあるが具体的な予算付けは。</p> <p>3. 6つの重点的取組みと「人口減少対策元年」との関連性はどうか。</p>

<p>3 5 番 吉川 諭議員 (40 分) 10:40~11:20</p>	<p>池田町長は、令和 5 年度を「人口減少対策元年」と位置付け、施政方針の中で 6 つの重点的取り組みを挙げた。人口減少対策についての町長の基本的な考え方及び予算配分と財源について問う。</p> <p>(1) 人口減少対策として自然増と社会増のどちらにより重点を置いているのか。</p> <p>(2) 少子化の一因は非婚化にあるという指摘もある。大磯町の有配偶率の推移と非婚化対策等についての見解を問う。</p> <p>(3) 子育て・教育関連事業には特に力をいれるとして前年度比で約 3 億円増となる予算を盛り込んだ。小児医療費助成の高校 3 年生までの拡充、小学校給食の無償化、中学校昼食費補助、2 つの公園のリニューアル工事などが主だが財源はどうか。</p> <p>(4) 地方交付税は社会保障関連経費などの需要額増で 2 億 6,000 万円の増とのことだが、この需要額増のうち新たな子育て支援策によるものはあるか。</p> <p>(5) 新しい事業を始めるために、これまでの事業を見直すことも大切になってくる。令和 5 年度予算編成にあたり見直した事業はあるか。</p>
<p>4 8 番 鈴木 京子議員 (40 分) 11:20~12:00</p>	<p>令和 5 年度の施政方針を受け、以下の 3 点について総括質疑を行う。</p> <p>1. 人口減少対策元年の 6 つの項目のうち以下の点を問う。</p> <p>(1) 子育て・教育環境の向上 「小学校給食を通してオーガニック食材、大磯産の食材の良さを知ってもらう機会を提供」とあるが、具体的な内容は。中学校給食の早期再開の具体策、実施時期の考えはどうか。出産・子育て応援で現金給付による経済的支援の具体策は。子育て・教育関連事業で前年度比約 3 億円増の異次元という子育て支援策の事業概要について問う。また、事業遂行のための人的配置は十分か。</p> <p>(2) 福祉・医療の充実 減少傾向にある老人クラブ活動への支援の具体策は。地域福祉計画の素案を読んだが、この内容で「地域共生社会」の推進につながると考えるのか。</p> <p>(3) 自然環境保全 プラスチックごみの処理のあり方についての調査、研究は、ごみ処理広域化の中で行うのか。</p> <p>(4) 防災及び行政機関・その他 大規模な地震による津波が一番に危惧されるという。津波対策で地盤を約 3 m 上げる新庁舎建設を棚上げにし、現庁舎の耐震補強の可能性を検討するようだが、整合性が取れないのではないか。</p>

2. 財源措置について

議員活動、選挙活動で届けられた町民の様々な要望に応える予算と考えるが、財源について持続可能と考えるのか。期待が膨らむ施政方針だが、実施に当たり予算計上されていないものはあるか。今後の行財政運営の見通しについて問う。

3. 職員の職場環境について

すべての職員が意見を出し、話し合える職場環境にするのは第一歩と考える。その先をどう見据えているのか。

4名8問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。